

とくてん

じゅけんばんごう	なまえ

すいさんかこうしょくひんせいぞうぎょう
ぎのうひょうかしけん

ひかねつせいすいさんかこうしょくひん
せいぞうぎょう

なましょくようかこうひんせいぞう

せんもんきゅう

がっかしけん

【きょうつう もんだい】

つぎのぶんしょうについて、ないようがただしいとおもうものには○のらん
に✓(ちえっく)を、まちがいとおもうものには×のらん
に✓(ちえっく)をかきなさい。

1. すいさんかこうじょうでは、げんりょうからせいひんまで
えいせいかんりをおこなうことがたいせつである。

○	×
✓	

2. すいさんかこうじょうでは、かんたんなさぎょうのときは、
さぎょういをきなくてもよい。

○	×
	✓

3. げんりょうぎょかいそうるいのしよりは、ていおんと
たんじかんでえいせいてきにおこなう。

○	×
✓	

4. いわしは、あかみのさかなである。

○	×
✓	

5. かいそうは、かこうげんりょうにならない。

○	×
	✓

6. あかみのさかなは、しろみのさかなにくらべて、きんにく
ぜんたいにしめるちあいにくのわりあいがすくない。

○	×
	✓

【きょうつう もんだい】

7. ぶたにくにすくなく、ぎょにくにおおいえいようせいぶんがある。

○	×
✓	

8. さかなのしゅるいによってせんどがわるくなるはやさがちがう。

○	×
✓	

9. せんどていかしたさかなをこおりにつければせんどがよくなる。

○	×
	✓

10. さかなのにくはすいぶんがおおくやわらかいのでくさりにくい。

○	×
	✓

11. じこしょうかこうそは、きんにくやないぞうにふくまれている。

○	×
✓	

12. みじかいじかんですばやくとうけつすることを、きゅうそくとうけつという。

○	×
✓	

13. さかなをとうけつしてからほかんすることをちるとちよぞうという。

○	×
	✓

【きょうつう もんだい】

14. ぎょかいそうるいは、ていおんちょぞうやだっすい、
かねつしよりをする とほぞんせいがわるくなる。

○	×
	✓

15. しょくひんにしおをいれるとすいぶんかっせいがたかくなり、
ほぞんせいがわるくなる。

○	×
	✓

16. すいさんかこうしょくひんのひんしつがわるくなるげんいん
には、おんどやさんそなどのかんきょうとしょくひんの
すいぶんかっせいなどがある。

○	×
✓	

17. すいさんかこうしょくひんに、みそやししょうゆをつかった
せいひんはない。

○	×
	✓

18. ぎょにくはかんそうすると、すいぶんかっせいがていかして、
ほぞんせいがよくなる。

○	×
✓	

19. さかなのあたまをきりとり、ひらきにするきかいを、
ぎょたいしよりきという。

○	×
✓	

20. すいさんかこうしょくひんは、ほうそうきをつかうことが
できない。

○	×
	✓

【なましょくようかこうひん せいぞう】

つぎのぶんしょうについて、ないようがただしいとおもうものには○のらん
に✓(ちえっく)を、まちがいとおもうものには×のらん
に✓(ちえっく)をかきなさい。

1. なましょくようかこうひんのげんりょうはこうかなものが
おおい。

○	×
✓	

2. なましょくようかこうひんのせいぞうこうていではさいきん
がぞうしょくしにくい。

○	×
	✓

3. あにさきすは -20°C でも10にちかんいきている。

○	×
	✓

4. なましょくようかこうひんのすいさんかこうじょうないは
すべておせんくである。

○	×
	✓

5. ぎょかいにくをひきぎりしてすらいすすることにとっか
したほうちょうをさしみほうちょうという。

○	×
✓	

6. せんのわるいぎょかいるいはすしだねにかこうする。

○	×
	✓

【なましょくようかこうひん せいぞう】

7. なましょくようかこうひんのせいぞうでは
pH（ペーはー）ちょうせいざいをつかうものがある。

○	×
✓	

8. まぐろにくでみおぐろびんがめとかするにくしょくが
あざやかなあかいろからかっしょくへへんかする。

○	×
✓	

9. なましょくようかこうひんにちるどりゅうつうはひつよう
ない。

○	×
	✓

10. なましょくようれいとうまぐろをよつわりにしたものを
ろいんという。

○	×
✓	